

## (1 1) 非行傾向群と一般群の比較

### ▶▶ 1 鳥取県青少年育成意識調査での区分

内閣府の「第4回 非行原因に関する総合的研究調査（平成22年3月）」を参考に、非行傾向群と一般群を区分した。

非行傾向群 = 以下の表の項目の3つ以上に「1～2回ある」「ときどきある」を選んだ者

一般群 = 上記以外の者

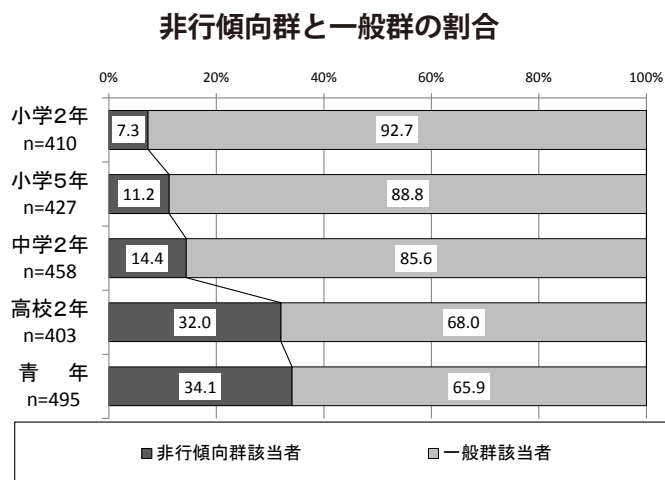
区 分	1	2	3	4	5	6	7
	ゲームセンター	大勢でいじめ	親の金の持ち出し	親にひどく反抗	友だちと夜遊び	テレクラに電話	ネットに悪口書き込み
小学2年	○	○	○	○			
小学5年	○	○	○	○			
中学2年	○		○	○	○	○	○
高校2年	○		○	○	○	○	○
青 年	○		○	○	○	○	○

(参考) 内閣府の用いた区分の要約

小学生の非行傾向を分析する際、以下の項目を3項目以上経験が「ある」（「ときどきある」または「1～2回ある」）者を、「非行傾向がある群」と定義した。

No.	区 分	少年法のぐ犯に相当する項目	非行少年との有意な相関関係のある項目	非行傾向者を抽出する項目
1	友だちとゲームセンターで遊んだことがありますか		○	○
2	おおぜいで1人の友だちをいじめたことがありますか	○		○
3	親のお金をだまって持ち出したことがありますか	○	○	○
4	親にひどく反抗したことがありますか	○	○	○
5	友だちと夜おそくまで遊んだことがありますか	○	○	○
6	テレクラに電話をしたことがありますか	○		○
7	インターネット上の掲示板等で他人の悪口等の書き込みをしたことがありますか	○		○

図98



### ▶▶ 2 非行傾向群と一般群の比較方法

非行傾向群と一般群別に全質問項目を集計し、回答率に10%以上の差があった項目を抽出した。非行傾向群と一般群で、2つ以上の年代に共通して差があった主な項目は次のとおり。

(なお、非行傾向群と一般群別の集計は、有効回答者数(n)から「無回答」を除いて行った。)

### 3 家庭について

#### ○家庭生活不満足の原因

「兄弟、姉妹と気が合わないから」は、高校2年は非行傾向群が一般群を16.8%上回っている。

また、「家族の仲がよくない」は、全ての年代で非行傾向群が一般群を上回っている。差は大きい順から、小学5年28.2%、高校2年16.9%、中学2年14.0%、小学2年12.1%である。

「家族が仕事の関係で家にいないことが多いから」は、小学2年、5年、高校2年で、非行傾向群が一般群を上回っている。差は、大きい順から、小学2年25.9%、小学5年20.7%、高校2年3.4%である。

#### ○家族によく注意されること

「お金や物を大切にすること」では、非行傾向群が一般群を上回っている。差は大きい順から、小学2年で22.1%、小学5年は11.0%、中学2年は6.8%、高校2年は1.9%であり、年代が低くなるにつれて差が増加している。青年のみ、一般群が非行傾向群を上回っている。

※次のグラフの中に「※」があるものは、比率算出のもとになる人数が25人未満であることを示す。

図99

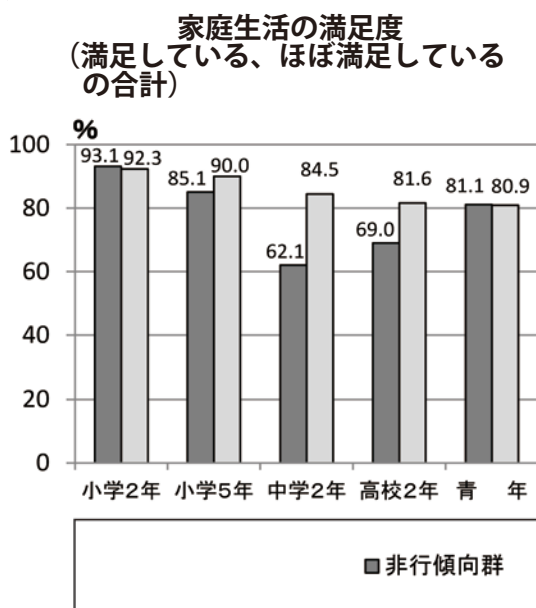
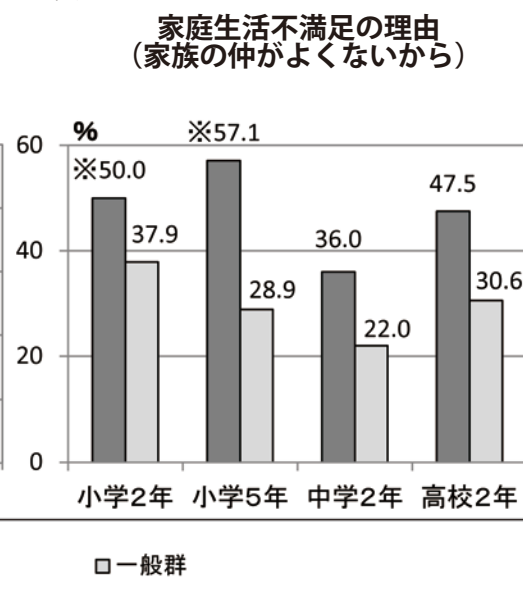


図100



▶▶▶ 3 家庭について

図101

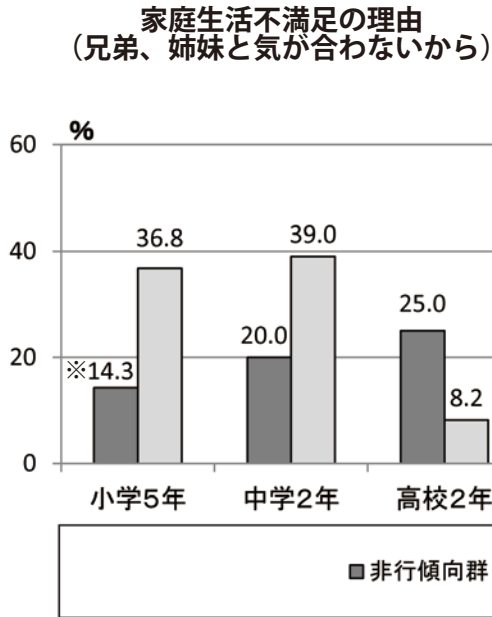


図102

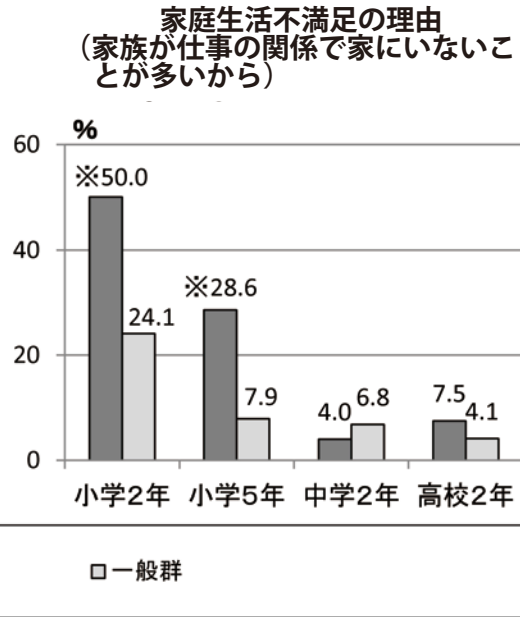


図103

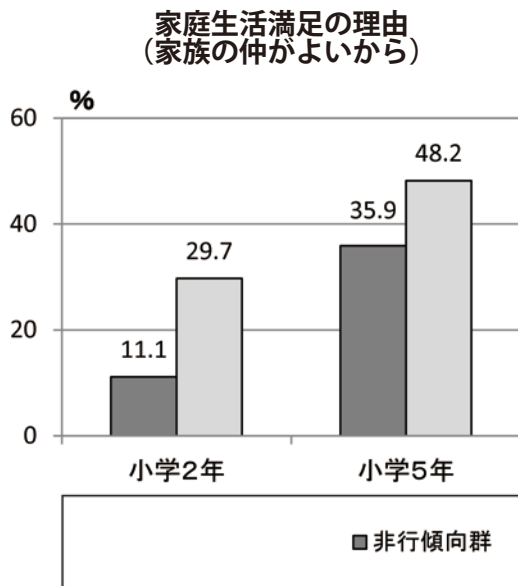


図104

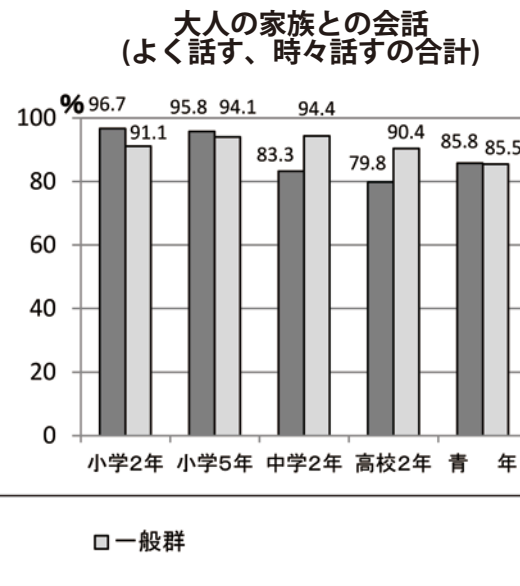


図105

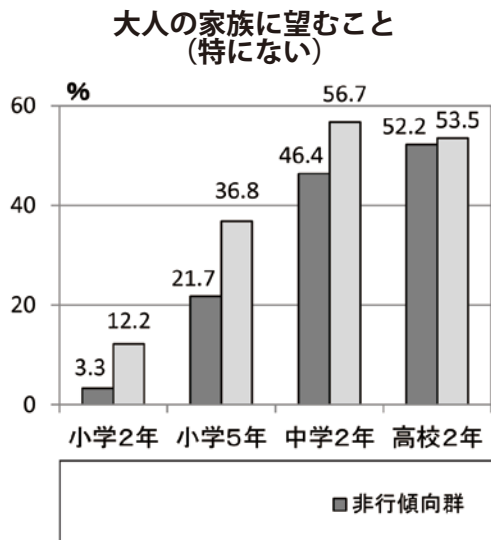
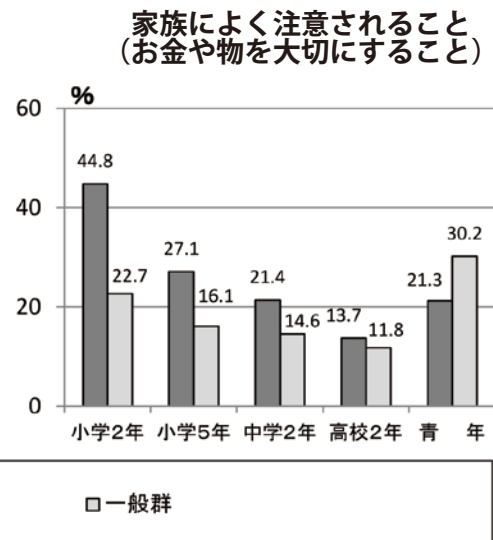


図106



▶▶▶ 4 生活について

○小遣いの使途

「食べ物、飲み物」は全ての年代で非行傾向群が一般群を上回っている。差は大きい順から中学2年20.2%、高校2年11.9%、小学2年10.1%、小学5年5.1%である。

○休日によくすること

「ゲームセンターで遊ぶ」は全ての年代で非行傾向群が一般群を上回っている。差は大きい順から、小学2年生13.9%、小学5年が11.9%、中学2年7.9%、高校2年4.1%、青年2.7%であり、年代が低くなるにつれて差が増加している。

図107

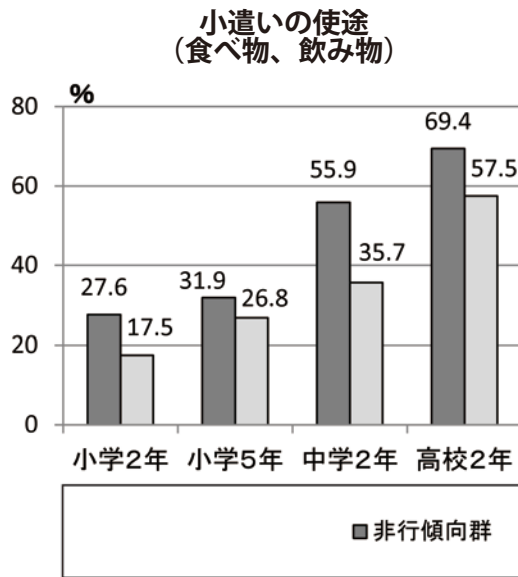


図108

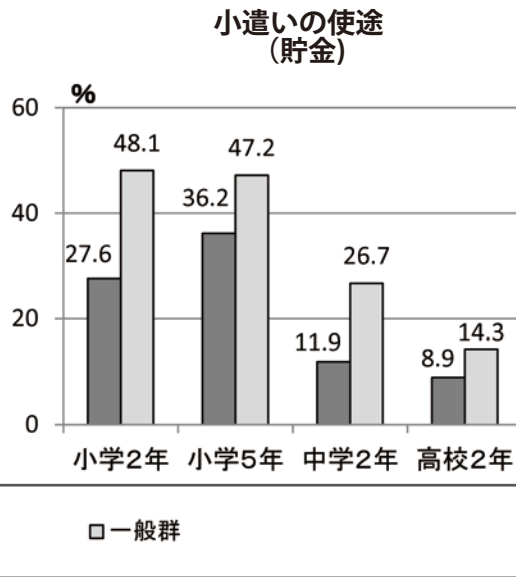


図109

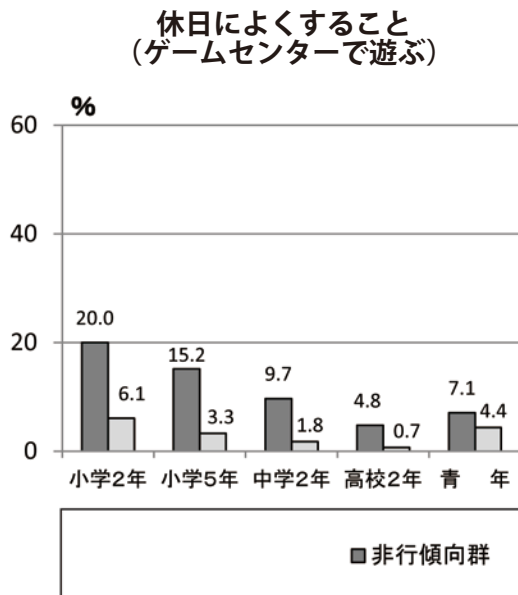
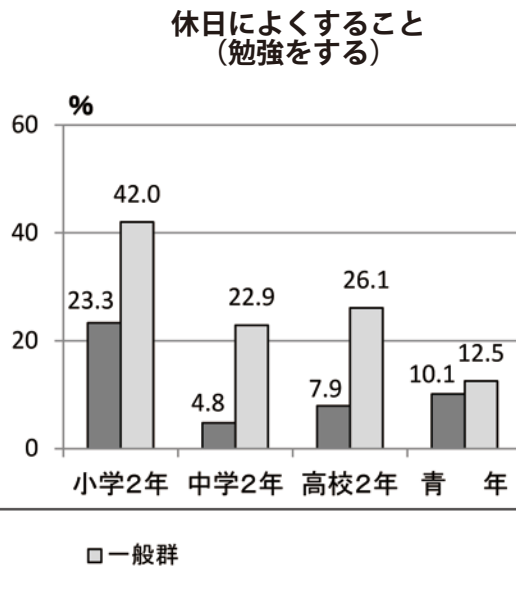


図110



▶▶ 4 生活について

図111

身の回りや部屋のかたづけをする  
(よくしている、時々しているの合計)

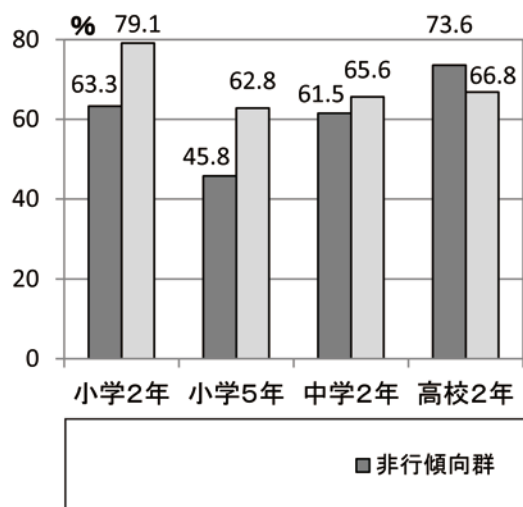
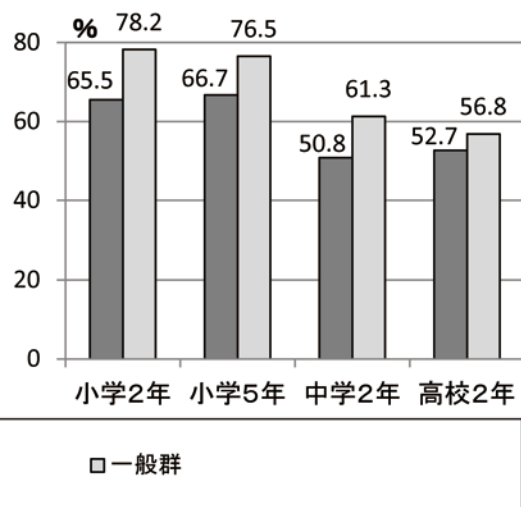


図112

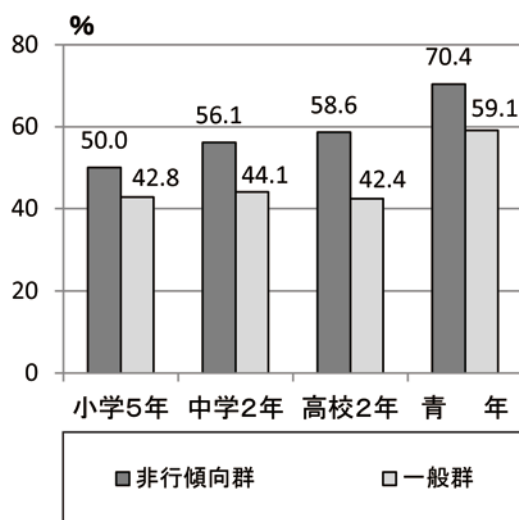
家の手伝いをする  
(よくしている、時々しているの合計)



▶▶ 5 体験的活動について

図113

のこぎりや金づちを使ったものづくり  
(経験有り)



## ▶▶ 6 学校・勉強について

### ○学校に行きたくないと思った経験

「よくある」「ときどきある」の合計は、全ての年代で非行傾向群が一般群を上回っている。差は大きい順から、小学5年32.2%、小学2年23.8%、中学2年12.6%、高校2年7.2%である。

図114

学校に行きたくないと思った経験  
(よくある、ときどきあるの合計)

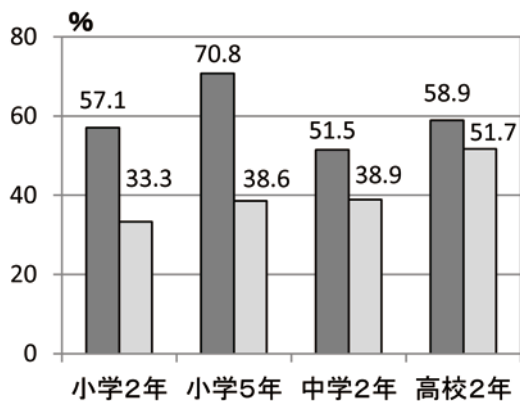
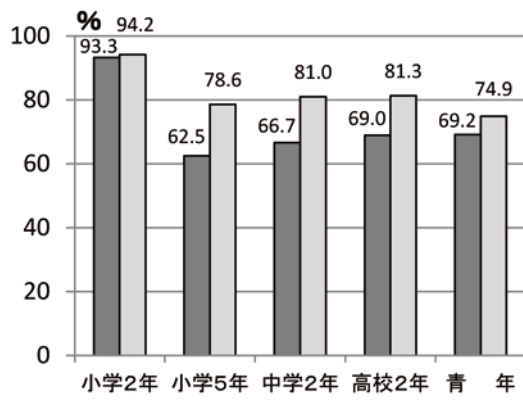


図115

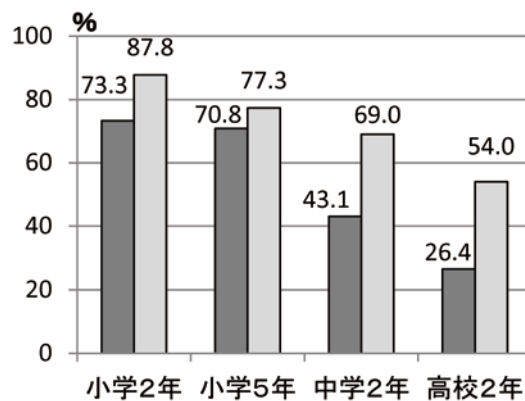
学校生活満足度  
(満足している、ほぼ満足しているの合計)



■ 非行傾向群 □ 一般群

図116

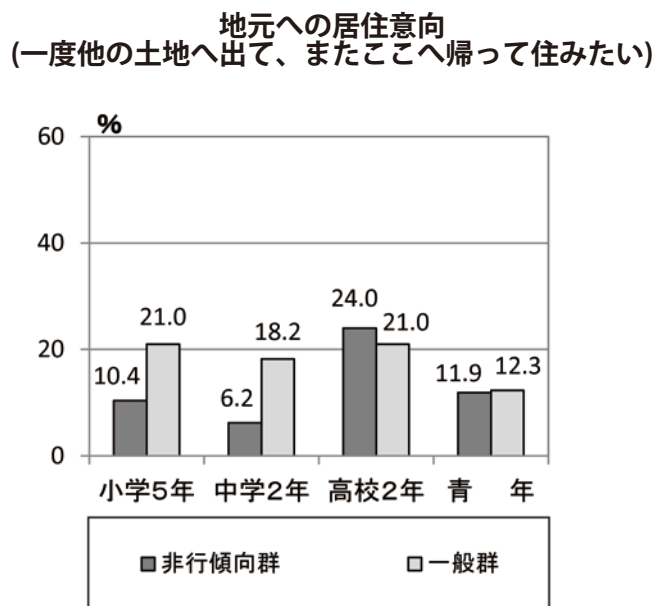
進んで勉強する  
(よくできる、ときどきできるの合計)



■ 非行傾向群 □ 一般群

▶▶ 7 地域とのかかわりについて

図117



▶▶ 8 心の状態

○仰うつ感

「死のうと思ったことがある」について、「ときどきある」「1～2度ある」の合計は、全ての年代で非行傾向群が一般群を上回っている。差は大きい順から、中学2年39.4%、青年15.0%、高校2年14.5%となっている。

○居心地がいいと思う「ところ」・「とき」

「友だちの部屋」は全ての年代で非行傾向群が一般群を上回っている。差は大きい順から、中学2年17.2%、小学5年と高校2年それぞれが11.7%である。

※次のグラフの中に「※」があるものは、比率算出のもとになる人数が25人未満であることを示す。

図118

**抑うつ感**  
(死のうと思ったことがある)

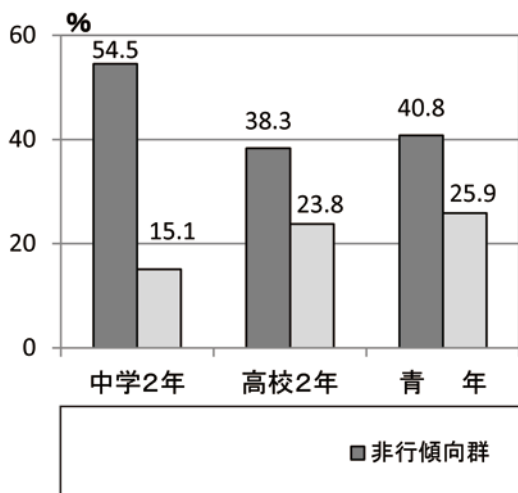


図119

**抑うつ感**  
(いらいらしたり、おこりっぽくなったりすることがある)

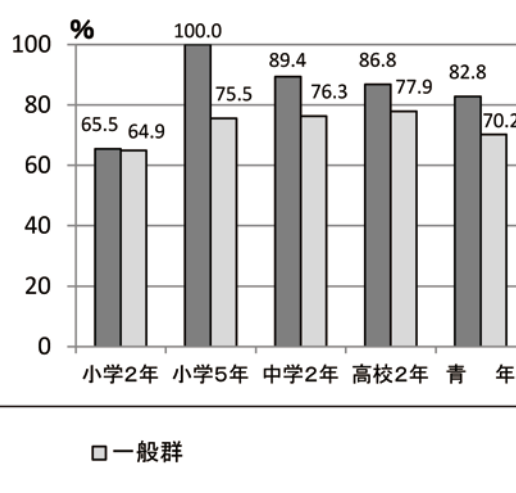


図 120

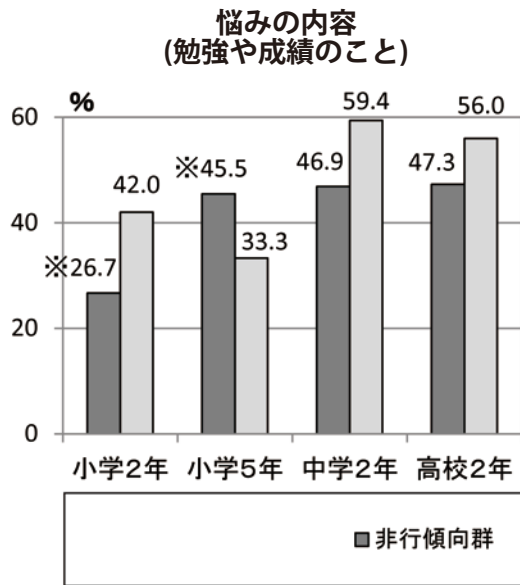


図 121

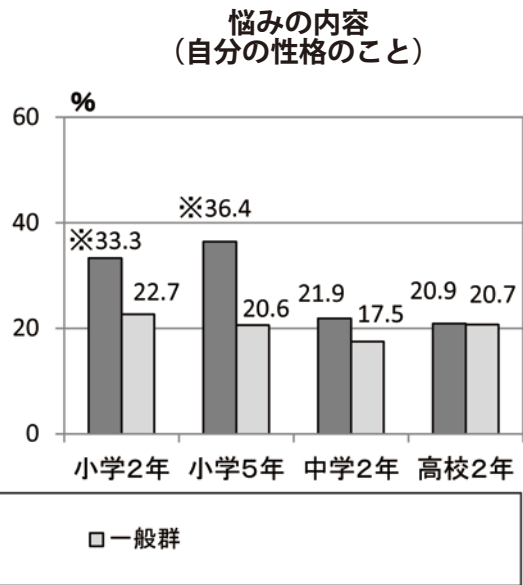


図 122

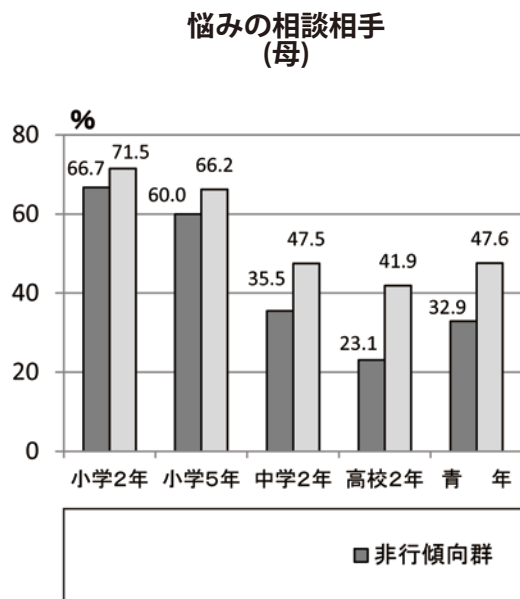


図 123

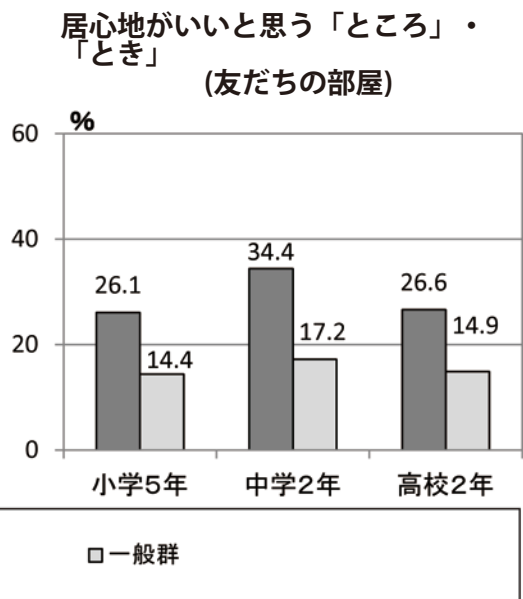
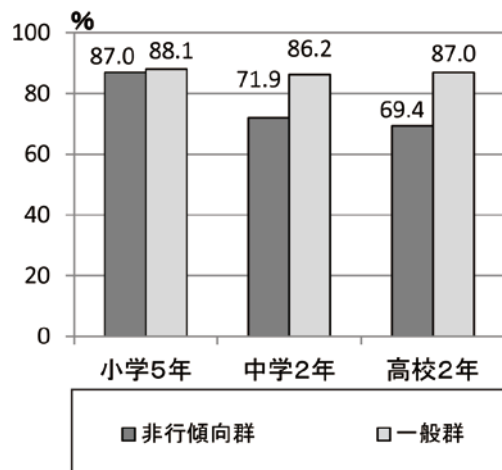


図 124

居心地がいいと思う「ところ」・「とき」  
(自分の家)





▶▶ 9 異性との交際で今の年齢でもよいと思うこと（青年は高校生の年齢で）

- 「性関係を持つ」は、高校2年26.7%、青年で24.7%が非行傾向群が一般群を上回っている。
- 「二人で泊まりがけの旅行に行く」は全ての年代で非行傾向群が一般群を上回っている。差は大きい順から、高校2年20.6%、中学2年11.3%、青年が7.2%である。
- 「キスをする」は全ての年代で非行傾向群が一般群を上回っている。差は大きい順から、中学2年24.2%、高校2年15.6%、青年8.1%である。

図125

相手の家に行ったり自分の家に呼んだりする

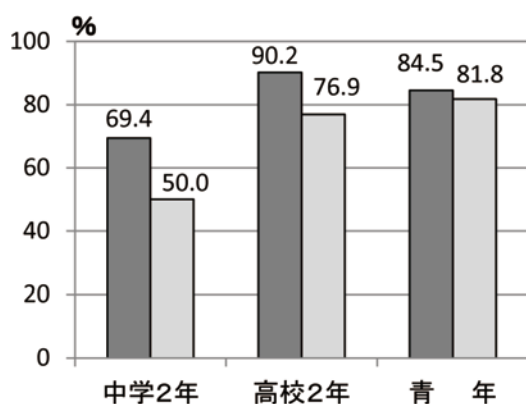


図126

相手の部屋や自分の部屋で二人だけで過ごす

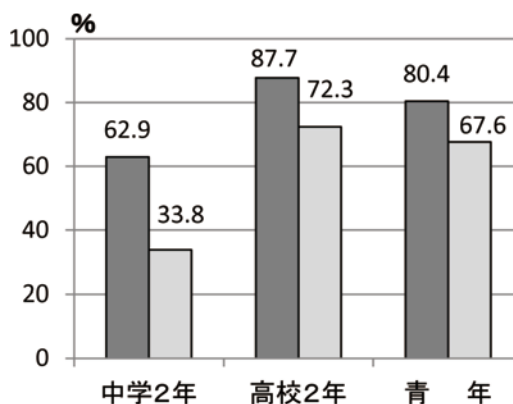


図127

二人で泊まりがけの旅行に行く

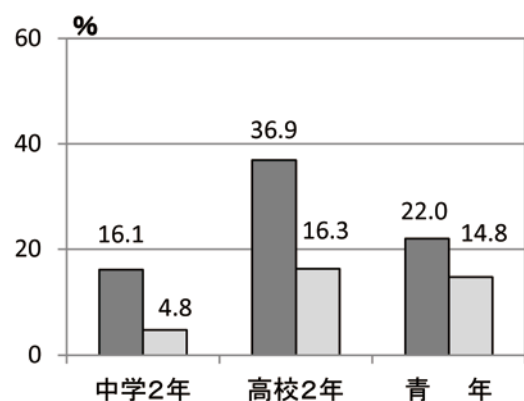
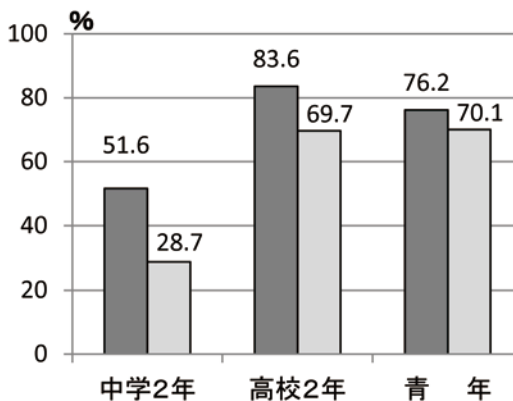


図128

肩を抱く



▶▶▶ 9 異性との交際で今の年齢でもよいと思うこと（青年は高校生の年齢で）

図 129

抱き合う

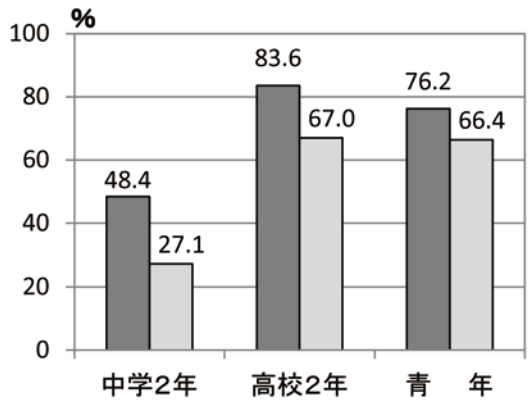


図 130

キスをする

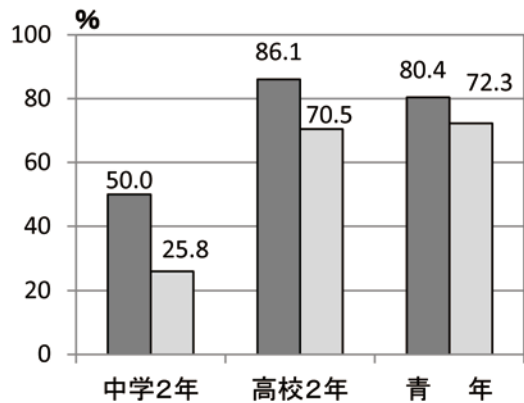


図 131

性関係を持つ

